

あま市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況（基本目標）

あま市まち・ひと・しごと創生総合戦略（計画期間：平成 27～31 年度の 5 年間）は、平成 30 年度に 4 年目を迎えることから、4 つの基本目標について進捗状況の総点検を行い、今後の戦略の推進に向けて検討します。

基本目標 1 地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする

「地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする」ことで、就業に起因する人口流出の抑制、地域との連帯感の強化、地域経済の活性化が期待できると考えられます。

そこで、次の目標を掲げ、市内での就業機会を増大させる戦略を実施します。

【数値目標】

「各年経済センサス」

指標	現状値	進捗状況	目標値
市内従業員数	25,268 人 (平成 24 年)	24,196 人 (平成 28 年)	30,000 人 (平成 31 年)

【KPI】 (◎○△は目標達成への進捗状況を表します。「資料 1 別紙参照」)

市内の法人新規設立数 (○) / 七宝焼アートヴィレッジでの七宝焼教室参加者数 (◎)
 / 農業塾参加者による産地直売施設販売参加者数 (△)

【主な事業】

企業誘致ワンストップサービス事業 / 高度先端産業立地奨励事業 / 金融機関、商工会と連携した起業支援事業 / 地域産業振興事業 / 地場産業関係団体への補助金交付事業 / 多面的機能支払交付金活用事業 / 市民農園拡充事業 など

【今後の戦略の推進に向けて】 (案)

企業誘致推進事業費 (H28～)、創業支援事業費 (H29～)、企業再投資促進補助金 (H30～)、産業振興事業補助金 (H30～)、移住労働者支援事業補助金 (H31～予定) など、総合戦略策定後に新規で実施する事業を推進し、市外からの企業立地の促進、市内企業への支援の充実による企業活動の活性化、関係団体との連携による創業を希望される方への空き家・空き店舗情報の提供や、創業支援セミナーの開催などの支援を充実させ、市内での就業機会を増大させていきます。

昼夜間人口及び流出人口 平成各年 10 月 1 日現在

区分	夜間人口	昼間人口	昼夜間人口比	流出人口	流入人口	流入-流出人口
17 年	85,307	68,505	80.30	31,943	15,200	△16,743
22 年	86,714	71,148	82.05	28,411	12,845	△15,566
27 年	86,898	71,767	82.59	29,115	13,984	△15,131

資料：国勢調査

有効求人倍率

海部地区及び稲沢市(平和町)

区分	有効求人倍率
24 年度	0.71
25 年度	0.89
26 年度	1.13
27 年度	1.25
28 年度	1.28
29 年度	1.50

資料：ハローワーク

市内事業所数・従業者数（民間）

区分	事業所数	従業者数
13 年度	3,357	24,984
18 年度	3,125	24,496
21 年度	3,239	26,790
24 年度	2,936	25,268
26 年度	2,804	23,951
28 年度	2,837	24,196

資料：経済センサス

基本目標2 地方への新しいひとの流れをつくる

「地方への新しいひとの流れをつくる」施策は、本市の知名度向上による移住・店舗進出の促進や、新たな人口の流入による人口ピラミッドの形状の改善、地域経済の活性化につながるものと期待できます。

そこで、次の目標を掲げ、市外からの滞在・交流人口を増加させる戦略を実施します。

【数値目標】

「七宝焼アートヴィレッジ調べ」

指標	現状値	進捗状況	目標値
市外からの滞在・交流人口 (市外からの七宝焼教室参加者数)	5,472人 (平成26年度推計)	5,674人 (平成28年度推計)	6,300人 (平成31年度)
		6,176人 (平成29年度推計)	

【KPI】(◎○△は目標達成への進捗状況を表します。「資料1別紙参照」)

年間の転入者数 (○) / スポーツの国際大会や全国大会の会場・練習場の招致件数 (○)
/ 七宝焼アートヴィレッジ来訪者数 (○) / 観光ボランティア数 (○)

【主な事業】※地方創生交付金活用事業

あま市イメージアップ戦略事業※ / 自動走行実証実験推進事業※ / シティプロモーション事業
/ あま市のよいこと「見える化」事業 / 観光ボランティア育成事業 など

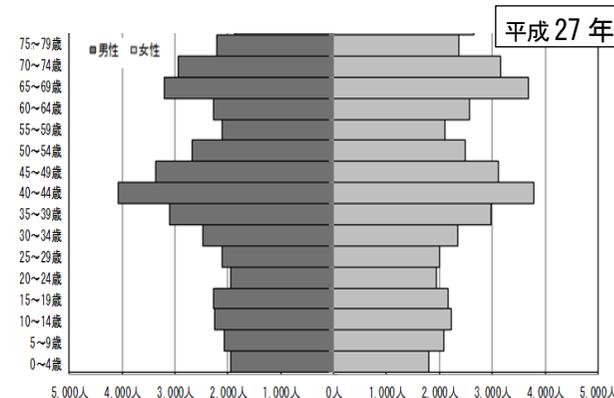
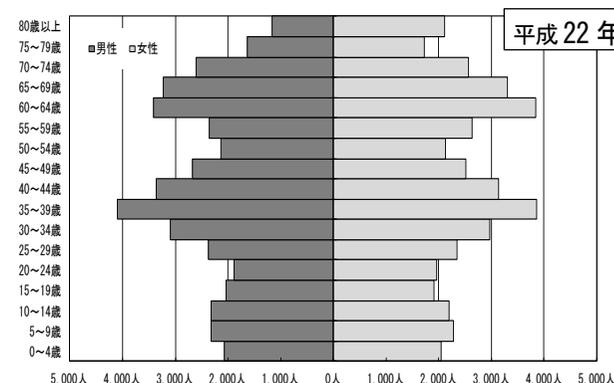
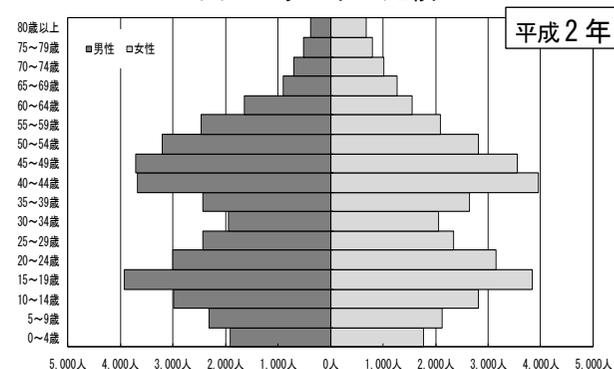
【今後の戦略の推進に向けて】(案)

海部地区で人口が一番多い本市は、合併により誕生した新しい市であることから知名度の点では十分ではないと考えられます。

そこで、大都市や周辺都市への鉄道・バス・自動車でのアクセスに優れ、かつ自然が多く静かで良好な住環境を誇る本市の魅力について市内外に情報を発信することにより、まずは本市の認知度を高めていきます。

そして、本市の魅力を高める事業をさらに推進するとともに移住労働者支援事業補助金 (H31～予定) (再掲) 等により、新たな人口流入を促進し、人口ピラミッド形状の改善を図っていきます。

人口ピラミッド比較



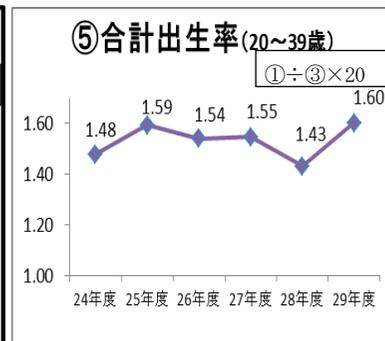
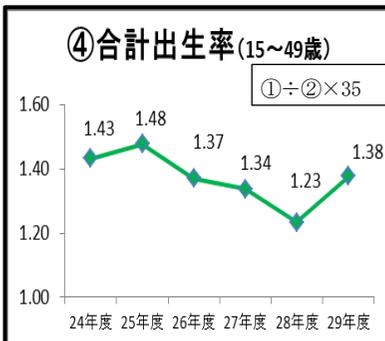
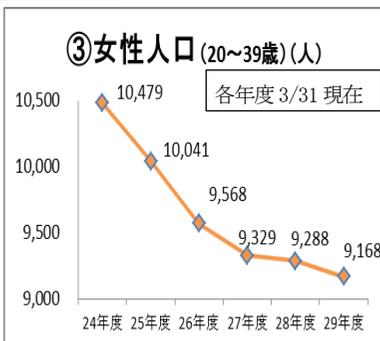
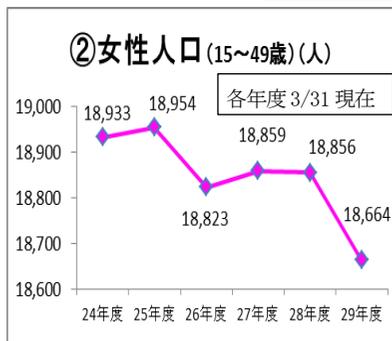
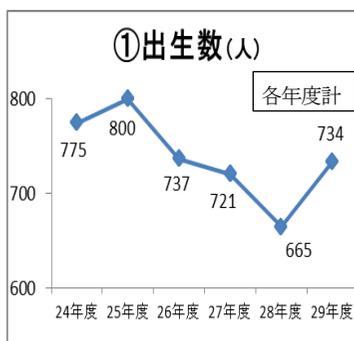
基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」ことで、生産年齢人口の増加、人口ピラミッドの形状の改善による人口構造の安定、地域経済の活性化が期待されます。そこで、次の目標を掲げ、合計特殊出生率を向上させる戦略を実施します。

【数値目標】 「現状値は平成20～24年人口動態保健所・市区町村別統計をもとに、あま市が算出」

指標	現状値	進捗状況	目標値
合計特殊出生率	1.50 (平成27年度)	独自試算 (下記④合計出生率参照)	1.59 (平成31年度)

独自試算では、「①出生数」を一般的に合計特殊出生率を算出する年齢層である「②女性人口(15～49歳)」の総数で除し、15～49歳までの年齢階層「35」を乗じたあま市独自の試算であり、誤差を含みます。(あま市での傾向を検討するための市独自試算です。)



【KPI】(◎○△は目標達成への進捗状況を表します。「資料1別紙参照」)

ファミリー・サポート・センター事業依頼会員数 (○) 及び利用回数 (◎) / 第三子保育料無料化対象児童数 (△) / 子どもが学校生活を楽しくしていると思っている保護者の割合 (○)、同児童生徒の割合 (○) / 不登校児率 (○)

【主な事業】※地方創生交付金活用事業

ファミリー・サポート・センター事業/子育てコンシェルジュ配置事業/病児・病後児保育事業 / 子ども医療費支給事業/母子家庭、父子家庭への子育て支援事業/第三子保育料無料化事業※ / 教育相談支援事業※/学校運営協議会運営費/地域学校協働本部運営費 など



病児・病後児保育事業

上記は、国の統計で特に出生率が高いとされる母の年齢階層である若年女性人口(20～39歳)をもとに算出した仮定の試算であり、さらに誤差が大きくなります。(あま市での傾向を検討するための市独自試算です。)

【今後の戦略の推進に向けて】(案)

本市では、総合戦略策定以前から子育て支援事業を実施してきました。総合戦略策定後は、関連事業を拡充するとともに、病児病後児保育事業費(H28～)、子育てコンシェルジュ事業費(H29～)、ひとり親家庭の子どもの生活・学習支援事業費(H29～)、子育て短期支援事業(H31～予定)などの新規事業を展開しています。これらの事業が効果的となるよう関係者の意見を反映し、市民の結婚・出産・子育ての希望をかなえていきます。

基本目標4 時代に合った地域をつくり、安全なくらしを守る

「時代に合った地域をつくり、安全なくらしを守る」ことで、住みやすいと感じる地域の形成、居住意向の向上が期待できると考えられます。そこで、次の目標を掲げ、市民の居住意向を向上させる戦略を実施します。

【数値目標】「現状値は、結婚・出産・子育てに関するアンケート調査結果「あま市への居住意向」(H27)」

指標	現状値	進捗状況	目標値
あま市への居住意向	73.0% (平成27年度)	独自アンケート (右記①、②参照)	85.0% (平成31年度)

【KPI】(◎○△は目標達成への進捗状況を表します。「資料1別紙参照」)

消防団員の充足率(△) / 市内犯罪発生件数(◎) / シルバーカレッジ入学希望者割合(△) / 健康マイレージ参加人数(◎) / 区画整理事業等による転入者数(○) / 鉄道利用者数(○) / 「あまつり」来場者数(◎) / 市民活動センター「あまテラス」登録団体数(○)

【主な事業】※地方創生交付金活用事業

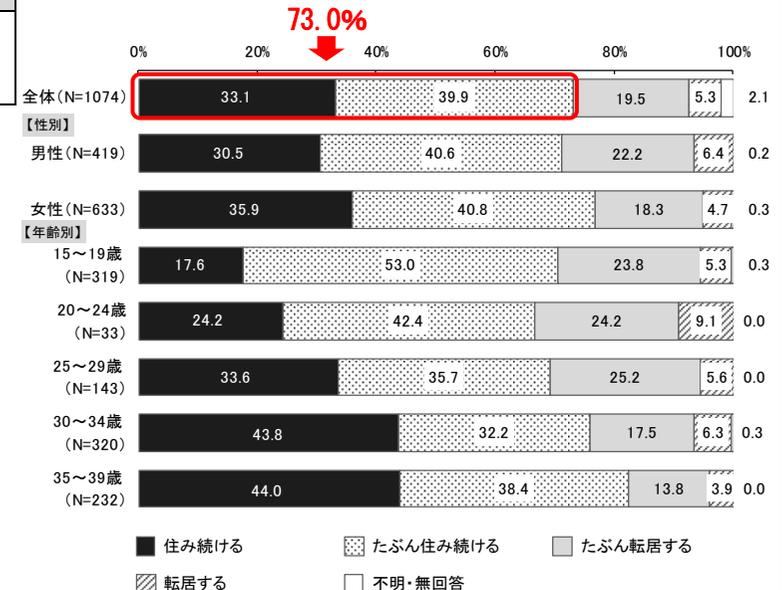
コミュニティFM事業 / 公用車青パト化事業 / 体験型防犯教室開催支援事業 / シルバーカレッジ事業※ / データヘルス計画事業 / 健康マイレージ事業 / 空き家等対策事業 / 地域公共交通試行運行事業 / 鉄道利用促進イベント事業 / パーク&ライド検討推進事業 / 市民活動センター「あまテラス」運営事業 など

【今後の戦略の推進に向けて】(案)

本市への居住意向は高く、全体的に住みやすいイメージとなっています。今後は、交通環境の整備など高齢化の進展を見据えた住みやすいまちづくりが必要と考えます。沖之島中央地区計画整備事業(H30～)、新庁舎周辺道路整備事業(H30～)、甚目寺駅周辺自転車駐車場整備事業(H30～)、市制施行10周年記念事業(H31～予定)などの新規事業を展開しています。

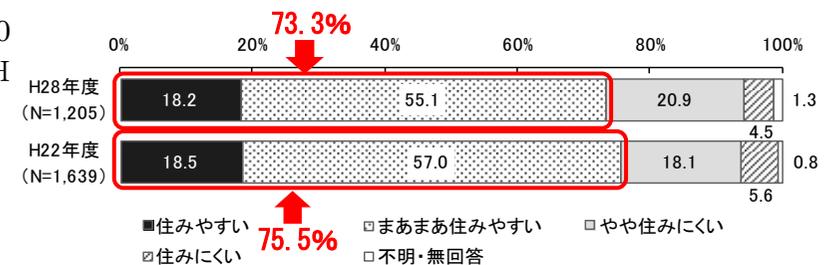
また、幅広い世代による協働のまちづくりを推進するため、中学生や高校生を始め、若い人が様々な地域活動に参加できる機会を提供することで、担い手としての意識向上と地域への愛着を深めていき、これまで育まれてきた地域での連帯感をさらに深めていきます。

①結婚・出産・子育てに関するアンケート調査結果「あま市への居住意向」について(H27)



あま市に住み続けるために必要な条件は「治安の良さ」、「交通の便の良さ」、「子育て環境の良さ」、「福祉・医療の充実」が上位

②市民意識調査結果比較「あま市の住みやすさについて」(H22/H28)



「住みやすい」、「住みにくい」ともに理由は「交通の便」が上位